

## 新井卓

### Takashi Arai

- 1978 川崎市生まれ  
2001 国際基督教大学中退  
2004 東京総合写真専門学校卒業

Website: <https://takashiarai.com>

### 受賞

- 2019 遠野市教育文化振興財団 教育文化特別賞  
2018 第72回サレルノ国際映画祭 短編部門最高賞（映像詩『オシラ鏡』）  
2017 第66回横浜文化賞文化・芸術奨励賞  
第46回川崎市文化賞アゼリア輝賞  
2016 第41回木村伊兵衛写真賞  
日本写真協会賞新人賞  
第65回神奈川文化賞未来賞  
2014 The Source-Code Prize, イギリス  
2013 Image Object 大賞, The Center for Alternative Photography, ニューヨーク

### 主な個展

- 2023 「日日の鏡」 PGI、東京  
2021 「ケア：今日のダゲレオタイプ—不確実性の時代のために」 PGI、東京  
「汀にて」好日亭（千葉公園内）、千の葉の芸術祭 CHIBA FOTO、千葉  
2020 「1000 Days / 1000 Mirrors」パーディー・ヒックス・ギャラリー、ロンドン  
2019 「Imago / イマーゴ」 PGI、東京  
「Tomorrow's History」(Camera and Canvas関連展) カールスルーエ州立美術館、ドイツ  
2017 「明日の歴史のために：福島編」ギャラリー・オフグリッド、福島  
「Cent soleils (百の太陽)」 Galerie Camera Obscura、パリ  
「Bright was the Morning -ある明るい朝に」横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜  
2016 「MONUMENTS」木村伊兵衛写真賞受賞作品展、コニカミノルタプラザ、東京  
「明日の歴史のために」ギャラリー交差 611、広島  
2015 「遠野的召喚:新井卓銀版撮影展」泰吉軒(Timeless Gallery)、北京  
「竜の鱗 — アトミック・エイジのモニュメント」東京都立第五福竜丸展示館、東京  
「Daily D-type」 Stills、エディンバラ (ACTINIC Festival / 大和日英財団)  
2014 「百の太陽に灼かれて/EXPOSED in a Hundred Suns」 Photo Gallery International、東京  
「Silverplated」 Artpace San Antonio、テキサス州サン・アントニオ  
2013 「D-type Story」 泰吉軒(Timeless Gallery)、北京  
「特別企画展:百の太陽に灼かれて/EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」尼崎文化センター、兵庫  
「彼岸の花/Flowers in Equinoctials」空蓮房、東京

- 「Here and There - 明日の島」 銘醸館、南相馬市
- 2012-3 「EXPOSE2012: 百の太陽に灼かれて/BEING EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」 KEN、東京
- 2012 「福島から広がる視線 2 MIRRORS HALF ASLEEP 新井卓銀板写真展」 丸木美術館、東松山市
- 「Here and There - 明日の島」 銀座ニコンサロン、東京、大阪ニコンサロン(巡回)、大阪
- 2011 「Dream of Images」 泰吉軒(Timeless Gallery)、北京
- 「夜々の鏡/Mirrors in Our Nights」 川崎市市民ミュージアム、川崎
- 「光、礫(いし)、水」 - ダゲレオタイプ、拾得物、映像による<滝> 明治大学生田図書館 Gallery ZERO、川崎
- 2009 「Flawless Lakes」 Project Basho、フィラデルフィア
- 2008 「Toward Lakes」 engawa、葉山町
- 2007 「ハーフミラー/Half Mirror」 Gallery Space Roundish、大阪
- 2006 「鏡むしのランデヴー/Rendezvous on Mirror」 横浜美術館、横浜
- 2001 「(海、空白の・・・)」 Cafe Cabiria、東京

### 主なグループ展

- 2023 「Squaring the Circles of Confusion: Neo-Pictorialism in the 21<sup>st</sup> Century」 Scarborough Art Gallery、イギリス
- 2022 「プリピクテジャパンアワード、Fire & Water」 東京都写真美術館、東京
- 「新収蔵作品展-現代美術の作品を中心に」 千葉市美術館、千葉
- 「Squaring the Circles of Confusion: Neo-Pictorialism in the 21<sup>st</sup> Century」 RPS Gallery、ブリストル、イギリス
- 2021 「世界不随人類生滅」 国立台湾美術館101展覧室、台中
- 「Photographic Occurrences」 Cook Center Process Gallery、インディアナ大学ブルーミントン校、アメリカ
- 2020 「ヨコハマトリエンナーレ2020」 横浜美術館、横浜
- 「REBOOTING NATURE」 パーディー・ヒックス・ギャラリー、ロンドン
- 2019 「Nuclear Visitons: The Atomic Photographers Guild」 John and June Allcott Gallery、ノースカロライナ大学、アメリカ
- 「Feel the Sun in Your Mouth: Recent Acquisitions」 ハーシュホーン博物館と彫刻の庭、ワシントンDC
- 「Visible Memories of Technologies」 全北大学自然史博物館、全州、韓国
- 「VOCA展」 上野の森美術館、東京
- 2018 「<三>三人展 新井卓 小原一真 片桐功敦」 ギャラリー交差611+旧日本銀行広島支店、広島
- 2017 「DAY TO DAY 日々の記録から学ぶ写真 新井卓x原美樹子」 東京総合写真専門学校、横浜
- 「KAERU」 Chi-Wenギャラリー、台北
- 「The Power of Images : MAST Collection」 MAST Gallery、ボローニャ、イタリア
- 「Birds in the Hand」 PGI、東京
- 「Re:コレクションII 写真遠近」 愛知県美術館、名古屋
- 「Photobook Phenomenon」 Centre de Cultura Contemporània de Barcelona、スペイン
- 2016 「Unclear Nuclear」 URANO、東京
- 「第11回上海ビエンナーレ」 上海
- 「Japanese Photography from Postwar to Now」 サンフランシスコ近代美術館
- 「?The Image as Question: An exploration of evidential photography」 マイケル・ホッペン・ギャラリー、ロンドン
- 「Samuel F.B. Morse's Gallery of the Louvre and the Art of Invention」  
ピーボディ・エセックス博物館、セイラム、アメリカ
- 「In the Wake 震災以後：日本の写真家がとらえた3.11」 アジア・ソサエティ、ヒューストン

- 「第3回 IMAGINE FUKUSHIMA — 新井卓+開発好明」コートギャラリー国立、東京 (WATERMARK arts and crafts企画)
- 「Festival Photo la Gacilly」ラ・ガシー、フランス
- 「A New and Mysterious Art: Ancient Photographic Methods in Contemporary Art」  
ハワード・グリーンバーグ・ギャラリー、ニューヨーク
- 「The Memory of the Future Photographic Dialogues between Past, Present and Future」  
エリゼ写真美術館、ローザンヌ、スイス
- 「Paradise Lost」ヴィラ・ロット美術館、ブルグリーデン、ドイツ
- 「日本写真協会賞受賞作品展」富士フィルムフォトサロン、東京
- 2015 「To What End?」カメラ・オーストリア、グラーツ
- 「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」ボストン美術館、ボストン  
(2016年3月11日-6月12日 JAPAN SOCIETY, NY へ巡回)
- 2014 「これからの写真」愛知県美術館、名古屋
- 「写真とことば、記憶の種 福島-東京」世田谷生活工房、東京
- 2013 「六本木クロッシング 2013:アウト・オブ・ダウト展」森美術館、東京
- 「IO-1: Image Object - International Contemporary Daguerreotypes Exhibit」  
The Center for Alternative Photography、ニューヨーク
- 2012 「OVER THE REALITY」Gallery Terra Tokyo、東京
- 「写真の現在 4 - そのときの光、そのさきの風」東京国立近代美術館、東京
- 2011 「EXPOSE 死の灰」KEN、東京
- 「新井卓+横浜市写真師会 美術館のなかの写真館プロジェクト」横浜美術館、横浜
- 2010 「Immemorial Foreseeing - 遠い昔の予感」Fellini Gallery、上海
- 2009 「Héritages de Daguerre」Association Louis Daguerre、ブリ市庁舎、フランス
- 2007 「City Panoramic」san art、ホーチミン・シティ
- 2004 「洋上の浮子、花の筏」横浜赤レンガ倉庫、横浜
- 2003 「映像詩 Aria」日吉アートアンドパフォーマンスプロジェクト、慶応義塾大学、横浜

## コレクション

- ・ギメ東洋美術館
- ・ボストン美術館
- ・ハーシュホーン美術館 (スミソニアン博物館)
- ・東京国立近代美術館
- ・サンフランシスコ近代美術館
- ・東京都写真美術館
- ・MAST 財団
- ・愛知県美術館
- ・エリゼ写真美術館
- ・ピーボディ・エセックス博物館
- ・フランス写真美術館
- ・川崎市市民ミュージアム
- ・アンドリアン・メンティエン美術館

(収蔵数順)

## フィルムグラフィ

- 2021 『私たちのくにへ：原爆の図 2021』（50mins/カラー/DCP/5.1ch）原爆の図丸木美術館委嘱作品
- 2018 『オシラ鏡』（20mins/カラー/DCP/5.1ch）
- 2014 『49 PUMPKINS』 \*サン・アントニオ市アートペースによる委嘱作品

## 出版物

### 単著

- ・『百の太陽／百の鏡 写真と記憶の汀』岩波書店、2023年
- ・『MONUMENTS』[写真集]、PGI、2015年
- ・『ドイツ 丘の上の小さなハカセ クラース』（「世界のともだち」シリーズ）偕成社、2015年
- ・『EXPOSE』[雑誌]、EXPOSE 同人、2014年
- ・『Here and There - 明日の島』[写真集]、KAGAMI、2012年
- ・『制作日誌『拾日録』より』[テキスト]、私家本、2012年

### 共著

- ・『言葉をもみほぐす』赤坂憲雄・藤原辰史／新井卓（写真）岩波書店、2021年
- ・『災害とアートの探る（フィールド科学の入口）』赤坂憲雄（編）玉川大学出版部、2020年
- ・『3.11 を心に刻んで 2018』（岩波ブックレット）、岩波書店、2018年

## カタログ

- ・「ある明るい朝に / Bright was the Morning」横浜市民ギャラリーあざみ野、2017年
- ・「Evidence Case File: ?The Image as Question: An exploration of evidential photography」GUIDING LIGHT、2016年
- ・「The Memory of the Future」Musée de l'Elysée Lausanne、2016年
- ・「DUBAI PHOTO」Dubai Photo、2016年
- ・「In the Wake: 日本の写真家がとらえた 3.11」青幻舎、2015年
- ・「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」ボストン美術館、2015年
- ・「これからの写真」愛知県美術館、2014年
- ・「六本木クロッシング 2013:アウト・オブ・ダウト展」森美術館、2013年
- ・「百の太陽に灼かれて/EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」尼崎文化センター、2013年
- ・「写真の現在 4」東京国立近代美術館、2012年
- ・「Immemorial Foreseeing - 遠い昔の予感」Fellini Gallery、上海、2010年
- ・「Héritages de Daguerre」Association Louis Daguerre、フランス、2010年

## 著述文献(インタビュー含む)

- ・「日本オーラル・ヒストリー研究(16)」2021年[論文]
- ・「陽の光あるうちに」[連載：表紙、エッセイ]（『現代詩手帖』2017年-2019年）
- ・「別腸日記」[連載：エッセイ]（「水牛のように」<https://suigyuu.com> 2017年-）
- ・「百の太陽を探して」[連載：エッセイ]（『小さな雑誌』2013年-）
- ・「Sharing Individual Memories on Micro-Monuments: Daguerreotype and New Narratives for the

Atomic Age」東アジア環境史学会、南海大学、2018年10月26日

- ・「銀板写真で『核の記憶』を追う」(『ナショナルジオグラフィック日本版』2017年3月号)
- ・「新しいモニュメントの到来のために：(上)(中)(下)」[エッセイ](『岩波』2017年1月号—3月号)
- ・「特集17：明日の歴史のために—ダゲレオタイプで写す、17歳の肖像」[エッセイ](『すばる』10月号、2016年)
- ・「MONUMENTS (ダゲレオタイプ写真) [写真家新井卓] [作品・テキスト掲載]  
(『グラフィケーション電子版』6号(2016年10月号))
- ・「Shigeo Gocho 1946–1983」[書評](『Camera Austria』132号、2016年)
- ・「No Nukes ヒロシマ ナガサキ フクシマ」[作品掲載] 講談社、2015年
- ・「TEN YEARS OF PICTURE POWER 写真の力」[作品、テキスト掲載] CCCメディアハウス、2014年
- ・「震災と『核』をダゲレオタイプで撮り続けて」[作品・テキスト掲載]  
(『Newsweek 日本版』インターネット版「Picture Power」2016年4月)
- ・「新井卓 ダゲレオタイプで記憶をとらえる」[特集](『芸術新潮』2015年12月号)
- ・「遠野、早池峰への旅」[エッセイ](『春秋』2014年1月号)
- ・「ダゲレオタイプスト、新井卓」[インタビュー](『PHaT PHOTO』vol.79、2013年、1–2月号)
- ・「新井卓銀板写真」[エッセイ](毎日新聞阪神版 2013年5月)
- ・『談』96号(TASC)pp. 33,51,69,82–83、2013年 [作品、テキスト掲載]
- ・「願いを込めて銀板に刻む被災地の記憶」 [作品/テキスト掲載](Newsweek 日本版、2012年3月21日 「Picture Power」欄)pp.64–67
- ・『辞書のほん』vol.5(大修館書店) [作品/テキスト掲載]、pp.3–6、2011年・「Arai Takashi: a Daguerreotypic Man」 [インタビュー、作品掲載](『声 ko-e』2011年9–10月号)pp.3–10
- ・「新井卓 – Mirrors in Our Nights/夜々の鏡」 [インタビュー](『Researching Photography』)  
URL : <http://researchingphotography.blogspot.com/> 2011年
- ・「ろうそくの炎がささやく言葉」 [詩集](勁草書房)表紙、あとがき、2011年
- ・「まなざすこと、希うこと」 [エッセイ](『春秋』2011年4月号)pp.12–15
- ・「鏡の両岸で出会うこと」 [エッセイ](『春秋』2011年1月号)pp.14–18
- ・「From the World」[展評](『PHaT PHOTO』2009年10–11月号)
- ・「鏡、リフレクション、イメージ ダゲレオタイプについて」 [エッセイ、作品掲載] (『談』 No.82、TASC)pp. 17、51、85、101–103、2008年
- ・「世界初ダゲレオタイプで切り取る独特の光と影」 [インタビュー](『多摩人』2009年秋号)

### 主な関連文献

- ・ Hinman, Tim 「Tick Tock Tokyo」 Sound Matters Podcast, Bang & Olufsen,  
<https://journal.beoplay.com/journal/sound-matters>
- ・ 安楽由紀子 「ダゲレオタイプにしか写らないもの 新井卓」 kotoba, 集英社, 2018年秋号
- ・ ヒントン実結枝 「新しい神話—未来に遺すダゲレオタイプ」 [インタビュー] 創造都市横浜,  
2018年2月16日 <http://yokohama-sozokaiwai.jp/person/17084.html>
- ・ Whatley, Katherine 「Through the lens: Japanese photographers explore nuclear narratives」 [論考]  
The Japan Times, 2018年5月19日
- ・ Sweet, Matthew 「'The Sun, 570 Meters, Hiroshima' Takashi Arai, 2014」 [評論]  
NewsWeek、pp.64、2017年5月5日号
- ・ Strecker, Alexander 「Storing Memories: Contemporary Japanese Daguerreotypes」 [論考]

Lensculture、2016年

- ・ Yoshitake, Mika 「Takashi Arai: Silver Plated」 [論考] EXPOSE、Society for Photographic Education、2015年秋号
- ・ Goldberg, Vicki. 「Japanese Photographers Reflect on the Fukushima Catastrophe」 [展評]The New York Times、2015年6月19日
- ・ Feeney, Mark 「At the MFA, Japanese photographers on the 2011 earthquake, tsunami」 The Boston Globe、2015年4月9日[展評]
- ・ Bohr, Marco, et al. 「Takashi Arai: Exposed in a Hundred Sun」 [特集]The Source Magazine、2015年11月号
- ・ 飯沢耕太郎 「新井卓 Exposed in a Hundred Suns」 [展評]artscapeレビュー、2014年9月15日号  
[http://artscape.jp/report/review/10102502\\_1735.html](http://artscape.jp/report/review/10102502_1735.html)
- ・ John L. Tran 「Between darkness and light」 [評論]The Japan Times、2014年9月4日
- ・ Marco Bohr 「Takashi Arai's Photographic Monuments to a Manmade Disaster」 [評論]Visual Culture Blog、2014年4月23日
- ・ Claudia Sarmiento 「Em Fukushima, a alquimia que revela um drama moderno」 [評論] O Globo、2014年4月12日
- ・ 岡村幸宣 『非核芸術案内—核はどう描かれてきたか』岩波ブックレット、岩波書店、2013年
- ・ 「JAPANESE ART PHOTOGRAPHERS 108」(『IMA』、2012年冬号)
- ・ 片岡秀子 「Japan - Takashi Arai, Tetsuya Higashikawa」 [評論](『コリア・フォト・マンスリー』2012年10月号)
- ・ 岡村幸宣 「非核×芸術案内:福島希望、自然美」 [評論](『東京新聞』夕刊 2012年8月16日)
- ・ 金村修 「写真のハードコア\_01」 [評論](『日本カメラ』2012年8月号)
- ・ 島貫泰介 「展評'12<写真の現在 4 そのときの光、そのさきの風>」 [展評](『アサヒカメラ』2012年8月号)
- ・ 上野修 「写真の現在 4 そのときの光、そのさきの風」 [展評](『アサヒカメラ』2012年7月号)
- ・ 竹内万里子 「写真家とは、という問い」 [展評](高知新聞、南日本新聞ほか 2012年7月2日~)
- ・ 手塚さや香 「見せ方へのこだわり」 [展評](毎日新聞 2012年6月19日)
- ・ 飯沢耕太郎 「写真の現在 4」 [展評](『artspace』2012年6月2日)
- ・ 伊藤俊文 「福島から広がる視線 2」 [展評](『MAINICHI RT』毎日新聞日曜版、2012年7月26日)
- ・ 岸桂子 「連続個展とシンポで「写真と大震災」考える」 [展評/作品掲載](『毎日新聞』夕刊 2012年2月20日)
- ・ 「Takashi Arai: a Daguerreotypical Man」 [評論](『ko-e』2011年9-11月号)
- ・ 調文明 「展評'11<新井卓「EXPOSE 死の灰」展 西澤諭志「ドキュメンタリーのハードコア」展>」 [展評](『アサヒカメラ』2011年7月号)
- ・ 竹内万里子 「新井卓の個展「光、礫、水」複製不可能な写真と向き合う」 [展評](『北海道新聞』2011年3月25日朝刊ほか)
- ・ 管啓次郎 「QUICKSILVER」 [詩]、(『光、礫、水』(小冊子)2011年1月)
- ・ 倉石信乃 「異数の鏡-新井卓のダゲレオタイプについて」 (『光、礫、水』(小冊子)2011年1月)
- ・ 伊藤貴弘 「鏡から窓へ-うつろいゆくダゲレオタイプ」 (『光、礫、水』(小冊子)2011年1月)
- ・ 天野太郎 「「美術館の中の写真館」によせて」 [コメント](『美術館の中の写真館』 展覧会パネル、2011年1月)
- ・ 「横浜美術館で写真展「しあわせの肖像展」-家族写真を紹介」 [展評](『ヨコハマ経済新聞』2011年2月10日)
- ・ 「あなたの家族写真、カフェに展示いかがが横浜美術館募る」 [展評](『朝日新聞』2011年1月7日朝刊)
- ・ 竹内万里子 「Notes sur l' "heureux échec" de la photographie, et sur les possibilités au présent」 [批評](『Infra Mince N°5』アルル国立写真専門学校、2009年)
- ・ 比嘉良治 「ダゲレオタイプは写真の救世主か!？」 [展評](『日本カメラ』5月号)pp.234
- ・ 「1枚の写真、広がる話」 [展評](『朝日新聞』2008年11月4日朝刊)
- ・ Claire Barliant 「Koganecho Bazaar, Yokohama」 [展評](『MODERN PAINTERS』 2008年9月1日)

- ・谷口雅「黄金町バザール」[展評](『GRAPHICATION』No.159、富士ゼロックス、2008年)pp.46
- ・平倉圭「<湖>へ-新井卓の風景写真」[展評](『Toward Lakes, 湖へ』チラシ、2008年)
- ・「19世紀のカメラで撮った」[展評](『朝日新聞』2007年12月17日朝刊)
- ・小林美香「ケータイとダゲレオタイプ」[エッセイ](『E ニッコールクラブ』2007年)
- ・竹内万里子「写真展-この一年」[展評](『写真年鑑 2006』2007年5月15日)pp.85

### 主なシンポジウム/講演

- ・『第四回東アジア環境史学会 (AEAHE2017)』南海大学、天津、2017年10月26-31日 [パネル]
- ・『Artist Talk: Takashi Arai』アジア・ソサエティ、ヒューストン、2016年12月4日[講演]
- ・『もう一度、<見る>ことの困難さとともに』日本写真芸術学会 写真プリントセミナー 2016年11月25日[講演]
- ・『「遠野物語」の新時代—平地人を戦慄せしめよ—』遠野文化フォーラム 2016年8月21,22日[パネル]
- ・『In the Shades on Mirrors: Daguerreotypes as Micro-Monuments for the Atomic Age』  
J.ポール・ゲティ美術館、2015年11月5日 [講演]
- ・『Exposed in a Hundred Suns: US-Japan Nuclear Legacies and the New Daguerreotypes as Micro-monuments』The Society for Photographic Education、ニューオリンズ、2015年3月14日[講演]
- ・『写真とことば、記憶の種 福島-東京』世田谷生活工房、2014年5月 [シンポジウム]
- ・『IO-1』The Center for Alternative Photography、ニューヨーク、2013年4月3日 [講演]
- ・『Fukushima Now』Bay Area Artists for Japan、Kala Art Institute、バークレー、2013年3月31日 [パネル]
- ・『ダゲレオタイプ、新しいモニュメントの到来のために』 [講演] APIS Tokyo 2012、日本大学、2012年9月8日
- ・『写真の現在 4』 [講演] 東京国立近代美術館、2012年7月21日
- ・『写真とことば』 [パネル] ニコンプラザ新宿、池澤夏樹(小説家)、鷺尾和彦(写真家)、竹内万里子(写真批評家)、  
新井卓、2012年3月16日
- ・『いま、なぜダゲレオタイプなのか?』 [講演] PHOTO NEXT 2010 日本写真学会セミナー、  
2010年6月29日 日本写真学会主催、東京ビッグサイト
- ・『イメージと現実をめぐるシンポジウム/詩人・吉増剛増氏を招いて』 [パネル] 2003年12月20日  
慶応義塾大学来往舎、横浜